

M A C 新組織のご案内

当社は今年4月に組織の部分的な変更を行いました。それに伴う人事異動も5月には完了致しました。「新農業時代」と言われておりますように肥料を巡る事業環境は大きく変わろうとしております。お客様の新たなニーズに精一杯応えられますように、支店長並びに部長、室長には経験豊かなベテランを配置し「プロのサービス」を心がけます。また、お客様の更なる飛躍をお手伝いするスタッフには元気溢れる中堅・若手職員を配置しました。「NEW・MAC」に対しましても、倍旧のご愛顧を宜しくお願い申し上げます。

M A C 新営業本部長高橋繁治ご挨拶

本年5月1日より営業本部長となりました高橋繁治と申します。昭和56年に三菱商事に入社し無機化学品を中心に様々な商品を取扱ってきました。韓国駐在が長く平成9年から二度に亘り通算10年近くをソウルで過ごしました。



私が肥料と出会ったのは、最初のソウル駐在の時でした。韓国の肥料会社向けに燐鉱石、塩化加里、硫黄といった肥料原料を納入していました。韓国は真露に代表される焼酎文化です。ストレートを一気に飲み干す。水割り、湯割り、サワーはありません。ウイスキーもストレートで一気に飲み干す。これを繰り返す。当時はこれが取引成立の必須条件でした。特に肥料会社は酒が強くないと務まらず、随分、鍛えられました。上杉社長(当時の三菱商事化学肥料部長)に初めて会ったのもその頃で、社長の訪韓の度に、社長も私も取引先に強要される酒でボロボロになりながら戦ったものです。当時、韓国は通貨危機で国の倒産という危機に瀕しましたが、韓国経済も急速に回復しその後のワールドカップ日韓開催、続く韓流ブームで日韓関係は驚くほど変わりました。最近では酒の飲めない若者も増え、韓国文化も急速に変わりつつあります。去年、韓国から帰国し肥料ユニットに着任、肥料販売の厳しい現状を知りました。原料の高騰化に始まった稀な出来事かも知れませんが、安定した取引環境に早く戻って欲しいものです。(次ページへ続く)

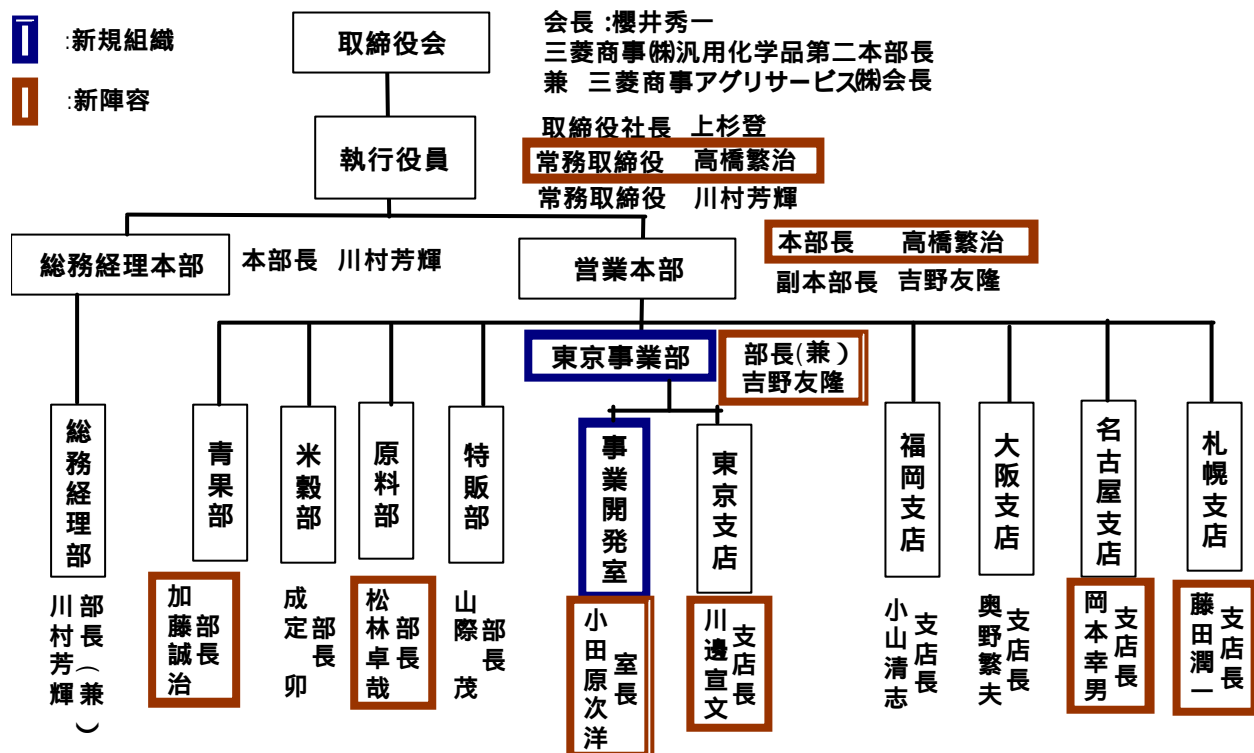
遠めがね

今年の菱肥会ブロック交流会は5月11日、12日の両日に宮崎県シーガイアにおいて開催される。全国から50名近い会員が集まり活発な情報交換を行い今後の事業の参考にする。注目を浴びているのは三菱商事(株)の吉田誠氏と宮崎県新福青果の新福社社長の講演だ。吉田氏は現在 政府の規制緩和委員会の農業部会の委員としても活躍されており、農業の将来の姿について多くの示唆が得られそうだ。新福社長は農業へのIT導入では先駆者の一人であるが新規事業にも積極的であり農業6次産業化への道筋を学ぶことが出来そうだ。農業ブームが続いている。昨今 話題になっているのが“セガレプロジェクト”だ。農家を継がずに東京で働く子息“セガレ”や娘“セガール”が設立したプロジェクトで、ファーマーズマーケットで実家の農産物の販売をすることから始まり、今や米袋やTシャツなどのオリジナルグッズも展開している。また、農作業体験ツアーなど東京で培った企画力やプレゼン力を活かし農業をプロデュースしている。新農業時代の都会と農村の交流の一例とも言える。3Dテレビが家電業界に誕生した。韓国では3D絵本の研究が進んでいる。絵本の立体化のみならず、本を傾ければ様々な視点から主人公が動き回るのを見ることが出来る。龍がぐるぐる回ったり、主人公たちが山を飛びながら移動したりなど、想像でしか動かなかった映像が実際に動くようだ。ITの進化はテレビで農作業の体験が来るところまで来ているのかも知れない。新農業時代では若者にとっても魅力ある事業が盛り沢山ありそうだ。

(前ページより続く)

此の度、MACに着任し肥料販売を通じて日本の将来を左右する農業関連の仕事に携わることが出来ますことを嬉しく思っています。今は厳しい環境下にあっても、原点に戻れば、将来は希望に満ちた輝く世界であると思います。変わりつつある日本の農業に対応すべくMACも新体制で臨みます。そして皆さまと一緒に知恵を絞り、肥料販売を進めてまいります。私は中村天風の「今日一日、怒らず、怖れず、悲しまず、親切、正直、愉快に」という言葉に出会って以来、問題にぶつかるとこの言葉を自分に言い聞かせることにしています。心穏やかに、そして機知を以って対処すれば、如何なる困難をも突破出来ると信じて居ります。私は今までの経験から、商売は人との繋がりが全てと考えて居ります。これから全国の皆様方にお会いし、そこから始まる多くの出会いとドラマを楽しみに致して居ります。何卒、宜しくお願い申し上げます。

新規組織並びに新陣容の紹介



人事異動

	部 支店長(新)	(旧)	担当者(新)	(旧)
東京事業部	吉野 友隆	東京支店長		
事業開発室	小田原 次洋	業務企画室長	寺田 直哉	兼 東京支店
東京支店	川邊 宣文	名古屋支店長	名倉 秀人	福岡支店
原料部	松林 卓哉	札幌支店長	桑原 大要	東京支店
特販部			大庭 真太郎	東京支店
青果部	加藤 誠治	青果部/次長		
札幌支店	藤田 潤一	MCFC出向		
名古屋支店	岡本 幸男	名古屋支店/課長	清野 徹	原料部
大阪支店			川崎 正実	東京支店
福岡支店			塚原 政志	大阪支店
MCFC出向			佐藤 久彰	原料部

事業開発室 旧業務企画室にて担当しておりましたJGAPの普及・促進に加え、新規農業参入した企業群並びに農業生産法人向け肥料関連業務を担います。
東京事業部 肥料商の皆様の新たなニーズに東京支店と事業開発室の協業にて対応します。

今年のGWはお天気に恵まれましたね。4月になっても寒かったせいも、初夏の陽気がとても気持ちよく感じられました。農作物の生育状態も、よくなってくれるといいのですが。

編集局長：小田原次洋 アシスタント：助川尚子

電話：03-5802-2011/E-mail：macjournal@mcagri.co.jp URL http://www.mcagri.jp